

日本語能力試験N1「合格体験記」

～毎日の積み重ねが N1 合格につながった～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 2 年生

ファム ティ ミ レ

今回、日本語能力試験 N1 に合格した。正直に言えば、以前の私は自分が N1 に合格できるとは思っていなかった。私は留学生として介護福祉を学びながらアルバイトもしているため、勉強と仕事の両立は決して簡単ではなかった。さらに、学科にはベトナム人が私一人しかおらず、分からないことがあってもすぐに母語で相談できる人がいなかったため、不安を感じることも多かった。

日本語学習において特に大切にしていたのは、語彙と漢字である。まず語彙を増やし、その後に文法を整理するようにしていた。日本語にはひらがな、カタカナ、漢字があるが、N1 レベルでは特に漢字の力が重要だと感じた。漢字を意識して学習するようになってから、単語の意味を関連づけて理解できるようになり、読解力も徐々に向上した。

また、ベトナム人の教師が開講している日本語講座にも参加した。学校の授業だけでは十分に理解できない部分もあったが、その講座では不明点をベトナム語で説明してもらえたため、理解を深めることができた。分からないままにせず、納得できるまで確認する姿勢も重要な学習方法の一つである。

介護の授業では専門用語が多く、当初はほとんど理解できなかった。それでも毎回辞書で調べ、ノートにまとめながら少しずつ覚えていった。時間はかかったが、継続することで確実に力となった。平日は 30 分から 2 時間ほど学習し、特に読解や文字・語彙の問題は繰り返し解き直した。「なぜ間違えたのか」を分析し、例文を作って音読することも心がけた。一度単位を落とし、「もう無理かもしれない」と感じたこともあった。しかし、留学生支援の教員から「あと一年だから頑張ろう」と励まされ、その言葉が大きな支えとなった。あの時努力をやめていたら、今回の合格はなかったと考えている。

日本語は短期間で急激に上達するものではない。しかし、毎日少しずつ積み重ねれば、その努力は必ず自分の力となる。これは私自身の経験である。一度は諦めそうになったが、継続することでここまで到達することができた。現在日本語を学習し

ている人やこれから挑戦する後輩に伝えたいのは、あきらめずに努力を続けることの大切さである。私にできたのなら、きっと誰にでも可能性はあると信じている。